

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 12 月 21 日 (2006.12.21)

【公開番号】特開 2005-137424 (P2005-137424A)
 【公開日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-021
 【出願番号】特願 2003-374354 (P2003-374354)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 11 月 1 日 (2006.11.1)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技球が遊動する遊技盤に始動入賞口と図柄変動表示器と大入賞口とを有し、前記遊技球が前記始動入賞口に入賞することによって前記図柄変動表示器の複数の図柄が変動を開始し該図柄の変動が停止した際に前記複数の図柄が揃った場合に大当たりとなって前記大入賞口の開閉扉が継続的に開放状態となり、該開閉扉の開放状態が所定のラウンド回数連続して行われるパチンコ機において、

前記大当たりが得られた際に前記大入賞口の開閉扉が開放状態になるラウンド回数を、予め設定した前記図柄変動表示器の変動停止図柄の組合せによって変化して設けたことを特徴とするパチンコ機。

【請求項 2】

前記ラウンド回数の違いによって前記図柄が揃って大当たりとなる確率を変化して設定したことを特徴とする請求項 1 記載のパチンコ機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 7】

本発明は、上記の目的を達成するためになされたものであって、即ち本発明の請求項 1 の発明は、遊技球が遊動する遊技盤に始動入賞口と図柄変動表示器と大入賞口とを有し、前記遊技球が前記始動入賞口に入賞することによって前記図柄変動表示器の複数の図柄が変動を開始し該図柄の変動が停止した際に前記複数の図柄が揃った場合に大当たりとなって前記大入賞口の開閉扉が継続的に開放状態となり、該開閉扉の開放状態が所定のラウンド回数連続して行われるパチンコ機において、前記大当たりが得られた際に前記大入賞口の開閉扉が開放状態になるラウンド回数を、予め設定した前記図柄変動表示器の変動停止図柄の組合せによって変化して設けたことを特徴とするパチンコ機である。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

また本発明の請求項 2 の発明は、請求項 1 記載の発明において、前記ラウンド回数の違いによって前記図柄が揃って大当たりとなる確率を変化して設定したことを特徴とするパチンコ機である。

この発明は、前記図柄が揃って大当たりとなる確率と前記大入賞口の開閉扉が開放状態になるラウンド回数について、例えば前記ラウンド回数が多く設定された停止組合せ図柄が揃う大当たり確率が小さく設定され、前記ラウンド回数が少なく設定された停止組合せ図柄が揃う大当たり確率を大きく設定される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

前記予め設定した停止図柄の組合わせについて、同じ奇数数字の図柄が揃った場合は前記開閉扉の開閉ラウンド回数を多く設定し、同じ偶数数字の図柄が揃った場合は前記奇数数字図柄が揃った場合より開閉ラウンド回数を少なく設定してもよい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 9

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 9 】

またステップ d' で図柄変動表示器 8 の停止図柄が例えば 6 6 6 のように偶数数字で停止した場合、ステップ d' から右のフローのステップ o へ進み、大当たり 2 の状態になる。前記大当たり 1 と大当たり 2 との違いは、ステップ j と t で判別するラウンド回数の違いで、大入賞口 1 2 の開放状態が 1 6 回と 6 回に設定した点の違いである。即ちステップ d' で 3 列とも同じ図柄で停止した停止図柄が 6 6 6 のように偶数数字の場合は、ステップ t で大当たりが 6 ラウンドまでカウントされて終了するように設定されている。

この偶数数字が 3 列揃って停止する大当たり 2 の確率は、前記奇数数字で揃って大当たり 1 する確率より少なくとも 2 倍高く設定してあり、ラウンド回数が少ない大当たり 2 の方が確率を高くして、大当たり 2 が得られ易いように設定してある。